2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	プロジェクトマネジメント論 (Project Management)		
ナンバリングコード	P30904	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル eビジネス論
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース		
授業コード	P090451	クラス名	
担当教員名	泉　丙完		
履修上の注意、履修条件	教わるだけでなく、自ら新たな新製品開発プロジェクトを提案できること。 講義では携帯・私語は厳禁 ただし、演習では活発に討議や発表に参加すること		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	「プロジェクトマネジメント」長尾清一著(ダイヤモンド社) 「VEとTRIZ」澤口学著(同友社)		
関連科目	経営学入門、情報メディアとビジネス、eビジネスマーケティング論、インターネット広告論、eビジネス経営論		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	新たな新製品開発のプロジェクト立上げに意欲があること。	20点	10点	
【知識・理解】	将来、新製品開発プロジェクトマネージャになるための基礎知識	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	新製品開発プロジェクト運営委のためのコミュニケーション能力を有する。			20点
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して新た新製品開発プロジェクトの提案をイメージできる。			20点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

新製品開発プロジェクト提案の発表と最後の総合テストの総合評価による。
また、出席状況・受講態度も考慮する。
グループ単位での新製品開発プロジェクト提案の発表する。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	プロジェクトマネジメントは、企業経営において必要不可欠な知識のひとつである。特に、新製品開発における成否は、新製品開発のプロジェクトマネージャに大きく依存する。 本講義の目的は、新製品開発のプロジェクトを立ち上げるにあたり、プロジェクトマネージャーとして各要素を適切に管理・運用するための知識や技術を習得することである。また、本講義においては、知識を習得するだけでなく、グループ毎に具体的な製品開発提案や疑似運用を行い、ディスカッションを通して実践的なプロジェクトマネジメントの疑似的に経験するねらいもある。	
授業の概要	本講義では産業界で必要とされるプロジェクトマネジメントを中心に学ぶ。特に、他社に対し優位に立つために、市場と顧客、製品とサービス、提供方式をうまく位置づけ、新たなアイディアの発想、スケジュール管理、リスクや契約の管理、外部関係者との交渉を学ぶ。具体的には、いくつかのグループに分かれ、具体的な製品を対象に、講義で学んだ手法を基に、新たな製品開発提案を行い、各グループでディスカッションを行う。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	泉丙完 本授業のITビジネスに関連し、三菱電機(株)でIT関連の技術開発に従事する。 また、製造業に関連し(株)泉精器製作所で開発製造に従事する。	

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : プロジェクトマネジメント論（Project Management ）　授業コード:P090451
担当教員: 泉　丙完

学修内容

1.
プロジェクトマネジメント概説、産業技術概要、商品企画の位置づけ、グループ分けとテーマ商品の選定。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.26～37　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.26～37　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

2.
市場環境分析手法について学び、グループ単位でテーマ商品に関する市場分析、戦略を検討する。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.38～51　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.38～51　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

3.
グループ単位での市場マクロ環境分析結果発表、ディスカッションを行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.52～64　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.52～64　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

4.
QFDによる品質機能展開手法について学び、グループ単位でテーマ商品に関する品質機能展開手法の演習を行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.65～79　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.65～79　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

5.
グループ単位でのQFD検討結果の発表、ディスカッションを行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.80～95　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.80～95　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

6.
製品の原価構成やVEによる原価低減/価値向上手法ついて学び、グループ単位でのテーマ商品でのVE演習を行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.96～108　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.96～108　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

7.
グループ単位でのVEの検討結果の発表、ディスカッションを行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.109～124　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.109～124　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

8.
TRIZによる商品アイディア発想手法について学び、グループ単位でのテーマ商品での演習を行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.125～145　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.125～145　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : プロジェクトマネジメント論（Project Management ）　授業コード:P090451
担当教員: 泉　丙完

学修内容

9.
グループ単位でのTRIZに基づくアイディア検討結果の発表、ディスカッションを行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.147～159　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.147～159　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

10.
商品評価決定について学び、グループ単位でのテーマ商品での演習を行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.160～168　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.160～168　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

11.
グループ単位での商品評価決定の検討結果の発表、ディスカッションを行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.169～189　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.169～189　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

12.
商品企画を行うために必要な知財に関する基本事項を学ぶ。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.190～208　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.190～208　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

13.
生産管理について学び、具体的な事例による演習を行う。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.209～229　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.209～229　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

14.
生産管理についての全体発表、ディスカッション。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.230～238　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.230～238　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

15.
授業内容の確認、提出レポートの確認。

予習:「プロジェクトマネジメント」pp.238～251　調査　（約2.0h）
復習:「プロジェクトマネジメント」pp.238～251　に関連する具体的な事例のまとめ　（約2.0h）

16.
試験により、学習内容の習得状況の確認する。

予習:
復習: